

[千歳市ホームページ](#)→[暮らし](#)→[生活・環境](#)→[環境](#)→[こども環境白書（平成29年度版）](#)



## 省エネ mini 用語解説

### カーボンプライシングってなに？

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）に価格を付け、企業や家庭が排出量に応じて負担することで、CO<sub>2</sub>の排出削減を促す施策の総称。主な施策に排出量に応じて課税する「炭素税」と、CO<sub>2</sub>の排出超過分を、CO<sub>2</sub>の排出量の少ない他の国や企業間で買い取ってもらう「排出量取引制度」があります。2017年現在、日本では「地球温暖化対策税」として炭素税が導入されていますが、諸外国に比べて税率は極めて低い水準にあります。また、排出量取引制度も一部の地方自治体での導入に留まっており、全国的な制度の実現には至っていないのが現状です。日本は2016年に発効した地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」に基づき、温室効果ガスの排出を2050年までに80%削減することを目標に掲げていることから、環境省がカーボンプライシング制度の本格的な導入を検討するために委員会を立ち上げました。

## 平成29年度版『千歳市環境白書』・『こども環境白書』発刊しました！！

「平成29年度版 千歳市環境白書」・「平成29年度版こども環境白書」を1月に発刊しました。

平成28年度の千歳市の自然環境や公害、廃棄物の概要や千歳市役所が行っているエコアクションの取組について具体的に掲載されています。

冊子をご希望される事業者様は環境課環境計画係にご連絡ください。

なお、市のホームページでもご覧いただけます。

[千歳市ホームページ](#)→[暮らし](#)→[生活・環境](#)→[環境](#)→[千歳市環境白書（平成29年度版）](#)



CO<sub>2</sub>削減につながる取組  
を応援しよう

# SDGs～世界を変えるための17の目標

平成27年11月に、全ての国が温室効果ガス排出削減目標を5年ごとに提出・更新することを義務付けることが定められた画期的な『パリ協定』が採択されました。それを受け、国連総会では2030年に（平成42年）に向けた新たな世界共通の目標として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

図1-1-1 SDGs17のゴール



資料：国連広報センター

アジェンダとは、国際的な取組についての行動計画を言い、全ての国に普遍的に適用され、「誰一人取り残さない」を基本方針とする世界を変えるための持続可能な行動計画を言います。持続可能な開発のために、【人間】・【地球】・【繁栄】・【平和】・【連帯】をキーワードとし、2030年までに達成すべき17のゴールと各々ゴールごとに設定された169のターゲットから構成されています。

次号では、世界中の人たちが共通認識のもと進めていかなければならない17の目標について、もう少し詳しくご紹介したいと思います！！

暦の上では春だというのに、まだまだ寒い日が続いていますね。季節の変わり目のせいか、周囲には風邪ひきさんが多いですが、みなさんの職場はどうですか？春は芽吹きของ時期でもあり、暖くなるのは嬉しいのですが、花粉症の私は風邪でもないのにがっちりマスクで準備万端です！！  
RE

編集・発行：千歳市 平成30年3月22日 第31号  
市民環境部環境課環境計画係  
電話：24-0590 e-mail: shoene@city.chitose.lg.jp

